

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）	
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I Lペンションズ・マネジメントに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 三菱UFJ メキシコ債券オープン ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）



第21期（決算日：2015年6月4日）  
第22期（決算日：2015年7月6日）  
第23期（決算日：2015年8月4日）  
第24期（決算日：2015年9月4日）  
第25期（決算日：2015年10月5日）  
第26期（決算日：2015年11月4日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」は、去る11月4日に第26期の決算を行いましたので、法令に基づいて第21期～第26期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## 三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	12
◇分配金のお知らせ	13
◇お知らせ	13

## マザーファンドのご報告

◇メキシコ債券マザーファンド	14
----------------	----

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
(設定日) 2013年8月23日	10,000		—	—	—	—	499
1期(2013年10月4日)	9,938		—	△0.6	94.8	—	907
2期(2013年11月5日)	10,203		—	2.7	93.1	—	1,127
3期(2013年12月4日)	10,302		30	1.3	93.5	—	1,249
4期(2014年1月6日)	10,552		30	2.7	94.1	—	1,244
5期(2014年2月4日)	9,835		30	△6.5	93.3	—	1,288
6期(2014年3月4日)	10,174		30	3.8	93.9	—	1,374
7期(2014年4月4日)	10,587		30	4.4	94.9	—	1,444
8期(2014年5月7日)	10,569		30	0.1	95.4	—	1,475
9期(2014年6月4日)	10,816		30	2.6	93.7	—	1,369
10期(2014年7月4日)	10,903		30	1.1	92.2	—	1,387
11期(2014年8月4日)	10,746		30	△1.2	93.6	—	1,330
12期(2014年9月4日)	11,097		30	3.5	92.4	—	1,361
13期(2014年10月6日)	11,160		30	0.8	90.0	—	1,393
14期(2014年11月4日)	11,406		60	2.7	92.9	—	1,338
15期(2014年12月4日)	11,594		60	2.2	90.4	—	1,483
16期(2015年1月5日)	11,088		60	△3.8	87.1	—	1,978
17期(2015年2月4日)	11,251		60	2.0	91.9	—	2,040
18期(2015年3月4日)	10,878		60	△2.8	91.3	—	2,065
19期(2015年4月6日)	10,939		60	1.1	92.5	—	2,271
20期(2015年5月7日)	10,406		60	△4.3	92.9	—	1,781
21期(2015年6月4日)	10,687		60	3.3	91.8	—	1,788
22期(2015年7月6日)	10,376		60	△2.3	94.2	—	1,666
23期(2015年8月4日)	10,289		60	△0.3	95.3	—	1,639
24期(2015年9月4日)	9,481		60	△7.3	94.5	—	1,408
25期(2015年10月5日)	9,553		60	1.4	89.2	—	1,345
26期(2015年11月4日)	9,785		60	3.1	90.3	—	1,317

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 信託約款の規定にしたがい、第2期までの収益分配は行っていません。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第21期	(期 首) 2015年5月7日	円 10,406		% —	% 92.9		% —
	5月末	10,930		5.0	92.9		—
	(期 末) 2015年6月4日	10,747		3.3	91.8		—
第22期	(期 首) 2015年6月4日	10,687		—	91.8		—
	6月末	10,475		△2.0	93.7		—
	(期 末) 2015年7月6日	10,436		△2.3	94.2		—
第23期	(期 首) 2015年7月6日	10,376		—	94.2		—
	7月末	10,273		△1.0	94.3		—
	(期 末) 2015年8月4日	10,349		△0.3	95.3		—
第24期	(期 首) 2015年8月4日	10,289		—	95.3		—
	8月末	9,696		△5.8	93.9		—
	(期 末) 2015年9月4日	9,541		△7.3	94.5		—
第25期	(期 首) 2015年9月4日	9,481		—	94.5		—
	9月末	9,410		△0.7	88.2		—
	(期 末) 2015年10月5日	9,613		1.4	89.2		—
第26期	(期 首) 2015年10月5日	9,553		—	89.2		—
	10月末	9,727		1.8	89.8		—
	(期 末) 2015年11月4日	9,845		3.1	90.3		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

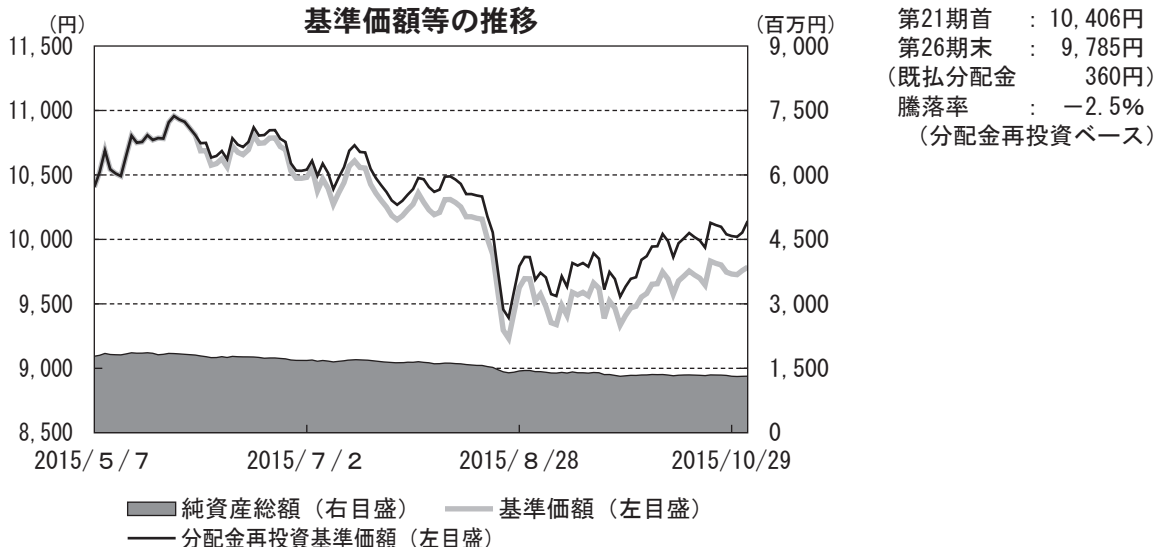
## 運用経過

## 当作成期中の基準価額等の推移について

(第21期～第26期：2015/5/8～2015/11/4)

## 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

## 下落要因

円高・メキシコペソ安となったことなどが基準価額の下落要因となりました。

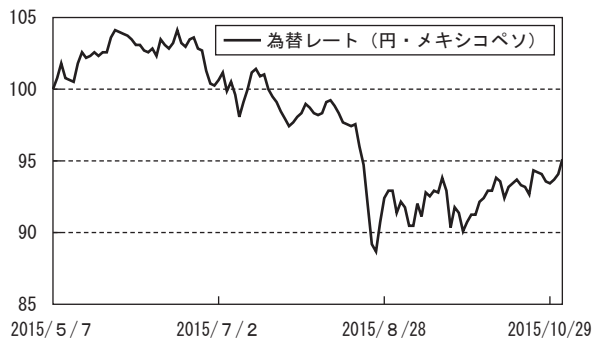
## 投資環境について

(第21期～第26期：2015/5/8～2015/11/4)

## 金利の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)

## ◎債券市況

- ・当作成期首から2015年6月上旬にかけては、メキシコと経済的なつながりの強い米国の雇用統計などの経済指標が堅調な結果となったことなどが影響し、メキシコ金利は上昇（債券価格は下落）しました。
- ・6月上旬から10月下旬にかけては、メキシコ中央銀行総裁が同国の2015年の経済成長率見通しを下方修正したこと、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で米国の利上げが見送られ、米国の利上げ観測が後退したことなどが影響し、メキシコ金利は低下しました。
- ・10月下旬から当作成期末にかけては、10月下旬に開催されたFOMCの声明で米国が年内に利上げする可能性が示唆されたことなどが影響し、メキシコ金利は上昇しました。
- ・当作成期を通じて見ると、メキシコ10年国債利回りは低下しました。

## ◎為替市況

- ・当作成期首から2015年9月下旬にかけては、中国の景気減速懸念の高まりや原油価格の下落などが影響し、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・9月下旬から当作成期末にかけては、米国の利上げ観測がやや後退したこと、ECB（欧州中央銀行）が金融緩和策を継続する可能性を示唆したことなどを背景にリスク回避の動きが後退したこと、日銀が追加金融緩和を実施するとの観測が高まったことなどが影響し、メキシコペソは対円で上昇しました。
- ・当作成期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

〈三菱UFJ メキシコ債券オープン〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）〉

- ・当ファンドは、主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコ債券を高位に組み入れた運用を行いました。

〈メキシコ債券マザーファンド〉

- ・基準価額は当作成期首に比べ1.7%の下落となりました。

## ◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

## ◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考え、メキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。組入銘柄では、バリュエーション（投資価値基準）面で投資妙味が小さくなったとの判断から、高速道路網の運営などを手掛ける企業の社債を全て売却しました。

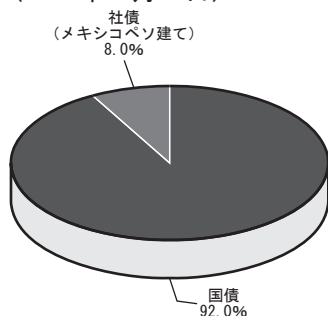
## ◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で相対的に魅力的だと考える中期ゾーンを中心に運用しました。また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）をやや短期化しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、メキシコペソの対円での下落や保有しているメキシコ社債の下落などが基準価額の下落要因となった一方、中長期ゾーンのメキシコ国債の上昇などが基準価額の上昇要因となりました。

（ご参考）

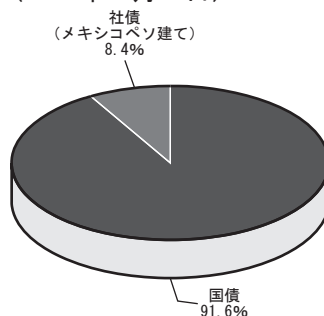
## 種別別組入比率

作成期首（2015年5月7日）



（注）比率は現物債券評価額に対する割合です。

作成期末（2015年11月4日）



（注）比率は現物債券評価額に対する割合です。

(ご参考)

## 利回り・デュレーション

作成期首 (現地2015年5月6日)

最終利回り	5.9%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	5.9%
直接利回り	6.4%
デュレーション	6.0年

- ・データはF I Lベンションズ・マネジメントより提供された運用ポートフォリオベースのものであります。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアム/コストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

作成期末 (現地2015年11月3日)

最終利回り	5.8%
最終利回り (為替取引考慮後) ※	5.8%
直接利回り	6.2%
デュレーション	5.9年

- ・データはF I Lベンションズ・マネジメントより提供された運用ポートフォリオベースのものであります。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。最終利回り (為替取引考慮後) は、最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コスト相当分を反映した数値を記載しております。なお、為替取引によるプレミアム/コストが発生しない場合においても、算出方法が異なるため「最終利回り」と為替取引考慮後の数値が一致しない場合があります。

(ご参考)

## 債券の格付分布

作成期首 (2015年5月7日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	91.8%	12
BBB格	2.6%	2
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
  - ・AA格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
  - ・A格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
  - ・BBB格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
  - ・BB格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。

作成期末 (2015年11月4日)

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	0.0%	0
A格	90.1%	10
BBB格	1.6%	1
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
  - ・AA格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
  - ・A格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
  - ・BBB格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
  - ・BB格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付 (国の発行体格付) を採用しているものがあります。
- ・格付分布はS & P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社のうち最も低い格付を表示しています。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期
	2015年5月8日～ 2015年6月4日	2015年6月5日～ 2015年7月6日	2015年7月7日～ 2015年8月4日	2015年8月5日～ 2015年9月4日	2015年9月5日～ 2015年10月5日	2015年10月6日～ 2015年11月4日
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	0.558%	0.575%	0.580%	0.629%	0.624%	0.609%
当期の収益	49	44	36	37	46	46
当期の収益以外	10	15	23	22	13	13
翌期繰越分配対象額	1,492	1,478	1,454	1,432	1,418	1,404

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

〈三菱UFJ メキシコ債券オープン〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）〉

### ◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針に基づき、為替ヘッジは行わずに、主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および債券売買益の獲得をめざす方針です。

〈メキシコ債券マザーファンド〉

### ◎運用環境の見通し

- ・メキシコ中央銀行は、経済的につながりの強い米国と金融政策の足並みを揃える姿勢を示しています。一方で、原油価格の低迷などを背景にメキシコ国内の経済成長ペースが緩やかであることから、メキシコ中央銀行は、メキシコの国内景気、および米国の経済・金融政策動向の両方を勘案しながら金融政策の舵取りを実施すると予想しています。
- ・為替市況については、短期的には米国の利上げ観測などを背景にメキシコペソは対米ドルで弱含む可能性があるものの、メキシコ中央銀行が為替介入や米国に追随した金融政策を実施すると見られることなどが下支え材料と見えています。中長期的には、米国の景気回復やメキシコ政府の構造改革などの恩恵を受け、ファンダメンタルズが堅調に推移すると考えられることから、他の新興国通貨と比べ、メキシコペソに対してはポジティブに見ています。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとバリュエーション面などを考慮し、中期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年5月8日～2015年11月4日)

項 目	第21期～第26期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(48)	(0.478)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(38)	(0.374)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.021)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.046	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 4 )	(0.043)	外国での資産の保管等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	93	0.919	
作成期中の平均基準価額は、10,085円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年5月8日～2015年11月4日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第21期～第26期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 376,391	千円 426,280

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年5月8日～2015年11月4日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ メキシコ債券オープン&lt;為替ヘッジなし&gt; (毎月決算型) &gt;

該当事項はございません。

&lt;メキシコ債券マザーファンド&gt;

区 分	第21期～第26期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 546	百万円 37	% 6.8

平均保有割合 82.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

## ○組入資産の明細

(2015年11月4日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第20期末	第26期末	
	口 数	口 数	評 価 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 1,524,692	千口 1,148,301	千円 1,298,384

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2015年11月4日現在)

項 目	第26期末	
	評 価 額	比 率
メキシコ債券マザーファンド	千円 1,298,384	% 97.7
コール・ローン等、その他	30,107	2.3
投資信託財産総額	1,328,491	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (1,574,242千円) の投資信託財産総額 (1,581,403千円) に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=121.09 円	1 メキシコペソ=7.39 円		
-------------------	-----------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第21期末	第22期末	第23期末	第24期末	第25期末	第26期末
	2015年6月4日現在	2015年7月6日現在	2015年8月4日現在	2015年9月4日現在	2015年10月5日現在	2015年11月4日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,801,602,743	1,679,298,191	1,656,061,451	1,429,046,713	1,360,047,833	1,328,491,734
コール・ローン等	27,189,221	42,933,277	43,792,623	29,792,102	29,483,832	30,106,879
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	1,753,413,479	1,636,364,845	1,612,268,618	1,380,254,562	1,322,563,954	1,298,384,694
未収入金	21,000,000	—	—	19,000,000	8,000,000	—
未収利息	43	69	210	49	47	161
(B) 負債	12,624,615	13,237,570	16,285,360	20,090,566	14,433,366	10,732,868
未払収益分配金	10,043,892	9,634,372	9,562,359	8,916,451	8,451,383	8,080,558
未払解約金	99,999	906,847	4,387,288	8,876,171	3,912,898	708,808
未払信託報酬	2,474,379	2,689,454	2,329,738	2,292,066	2,063,792	1,938,534
その他未払費用	6,345	6,897	5,975	5,878	5,293	4,968
(C) 純資産総額(A-B)	1,788,978,128	1,666,060,621	1,639,776,091	1,408,956,147	1,345,614,467	1,317,758,866
元本	1,673,982,149	1,605,728,775	1,593,726,591	1,486,075,262	1,408,563,899	1,346,759,717
次期繰越損益金	114,995,979	60,331,846	46,049,500	△ 77,119,115	△ 62,949,432	△ 29,000,851
(D) 受益権総口数	1,673,982,149口	1,605,728,775口	1,593,726,591口	1,486,075,262口	1,408,563,899口	1,346,759,717口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,687円	10,376円	10,289円	9,481円	9,553円	9,785円

## ○損益の状況

項 目	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期
	2015年5月8日～ 2015年6月4日	2015年6月5日～ 2015年7月6日	2015年7月7日～ 2015年8月4日	2015年8月5日～ 2015年9月4日	2015年9月5日～ 2015年10月5日	2015年10月6日～ 2015年11月4日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,858	2,118	1,598	1,469	1,278	1,166
受取利息	1,858	2,118	1,598	1,469	1,278	1,166
(B) 有価証券売買損益	59,052,993	△ 37,467,104	△ 1,984,270	△ 108,770,731	20,688,463	41,207,359
売買益	61,584,417	373,388	130,472	4,881,228	21,127,046	42,070,682
売買損	△ 2,531,424	△ 37,840,492	△ 2,114,742	△ 113,651,959	△ 438,583	△ 863,323
(C) 信託報酬等	△ 2,480,724	△ 2,696,351	△ 2,335,713	△ 2,297,944	△ 2,069,085	△ 1,943,502
(D) 当期損益金(A+B+C)	56,574,127	△ 40,161,337	△ 4,318,385	△ 111,067,206	18,620,656	39,265,023
(E) 前期繰越損益金	△ 76,407,377	△ 28,017,615	△ 76,972,295	△ 84,492,714	△ 193,081,000	△ 174,618,121
(F) 追加信託差損益金	144,873,121	138,145,170	136,902,539	127,357,256	119,962,295	114,432,805
(配当等相当額)	( 186,373,122)	( 180,234,566)	( 179,261,664)	( 167,302,713)	( 158,756,911)	( 151,863,267)
(売買損益相当額)	(△ 41,500,001)	(△ 42,089,396)	(△ 42,359,125)	(△ 39,945,457)	(△ 38,794,616)	(△ 37,430,462)
(G) 計(D+E+F)	125,039,871	69,966,218	55,611,859	△ 68,202,664	△ 54,498,049	△ 20,920,293
(H) 収益分配金	△ 10,043,892	△ 9,634,372	△ 9,562,359	△ 8,916,451	△ 8,451,383	△ 8,080,558
次期繰越損益金(G+H)	114,995,979	60,331,846	46,049,500	△ 77,119,115	△ 62,949,432	△ 29,000,851
追加信託差損益金	144,873,121	138,145,170	136,902,539	127,357,256	119,962,295	114,432,805
(配当等相当額)	( 186,479,314)	( 180,420,461)	( 179,283,572)	( 167,321,495)	( 158,769,529)	( 151,871,978)
(売買損益相当額)	(△ 41,606,193)	(△ 42,275,291)	(△ 42,381,033)	(△ 39,964,239)	(△ 38,807,234)	(△ 37,439,173)
分配準備積立金	63,293,437	56,925,025	52,515,412	45,515,448	41,032,276	37,330,572
繰越損益金	△ 93,170,579	△ 134,738,349	△ 143,368,451	△ 249,991,819	△ 223,944,003	△ 180,764,228

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 1,712,380,948円  
 作成期中追加設定元本額 80,565,290円  
 作成期中一部解約元本額 446,186,521円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9785円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は29,000,851円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2015年5月8日～ 2015年6月4日	2015年6月5日～ 2015年7月6日	2015年7月7日～ 2015年8月4日	2015年8月5日～ 2015年9月4日	2015年9月5日～ 2015年10月5日	2015年10月6日～ 2015年11月4日
費用控除後の配当等収益額	8,264,543円	7,205,281円	5,768,007円	5,592,924円	6,504,764円	6,239,344円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	186,479,314円	180,420,461円	179,283,572円	167,321,495円	158,769,529円	151,871,978円
分配準備積立金額	65,072,786円	59,354,116円	56,309,764円	48,838,975円	42,978,895円	39,171,786円
当ファンドの分配対象収益額	259,816,643円	246,979,858円	241,361,343円	221,753,394円	208,253,188円	197,283,108円
1万口当たり収益分配対象額	1,552円	1,538円	1,514円	1,492円	1,478円	1,464円
1万口当たり分配金額	60円	60円	60円	60円	60円	60円
収益分配金金額	10,043,892円	9,634,372円	9,562,359円	8,916,451円	8,451,383円	8,080,558円

- ④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○分配金のお知らせ

	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期
1万口当たり分配金 (税込み)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## 【お知らせ】

①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## メキシコ債券マザーファンド

### 《第5期》決算日2015年11月4日

[計算期間：2015年5月8日～2015年11月4日]

「メキシコ債券マザーファンド」は、11月4日に第5期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限ります。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I Lペンションズ・マネジメントに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2013年8月23日	10,000		—	—	—	793
1期(2013年11月5日)	10,219		2.2	95.0	—	1,946
2期(2014年5月7日)	10,886		6.5	96.6	—	2,125
3期(2014年11月4日)	12,103		11.2	93.9	—	1,838
4期(2015年5月7日)	11,501		△ 5.0	94.4	—	2,162
5期(2015年11月4日)	11,307		△ 1.7	91.7	—	1,581

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円					%			%
	2015年	5月	11,501					94.4			—
		5月末	12,106					94.6			—
		6月末	11,678					95.3			—
		7月末	11,534					96.8			—
		8月末	10,960					95.7			—
		9月末	10,712					89.9			—
		10月末	11,166					91.8			—
	(期 末)										
	2015年	11月	11,307					91.7			—
		4日									

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

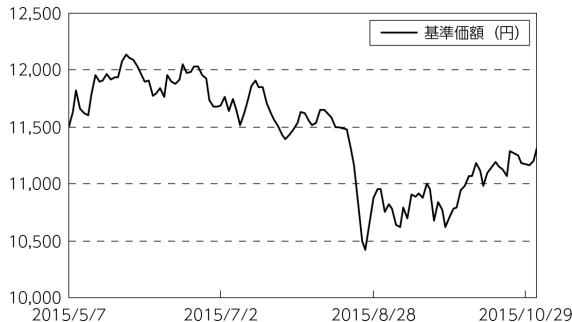
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.7%の下落となりました。

基準価額の推移



## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・期首から2015年6月上旬にかけては、メキシコと経済的なつながりの強い米国の雇用統計などの経済指標が堅調な結果となったことなどが影響し、メキシコ金利は上昇（債券価格は下落）しました。
- ・6月上旬から10月下旬にかけては、メキシコ中央銀行総裁が同国の2015年の経済成長率見通しを下方修正したこと、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で米国の利上げが見送られ、米国の利上げ観測が後退したことなどが影響し、メキシコ金利は低下しました。
- ・10月下旬から期末にかけては、10月下旬に開催されたFOMCの声明で米国が年内に利上げする可能性が示唆されたことなどが影響し、メキシコ金利は上昇しました。
- ・期を通じて見ると、メキシコ10年国債利回りは低下しました。

## ◎為替市況

- ・期首から2015年9月下旬にかけては、中国の景気減速懸念の高まりや原油価格の下落などが影響し、メキシコペソは対円で下落しました。
- ・9月下旬から期末にかけては、米国の利上げ観測がやや後退したこと、ECB（欧州中央銀行）が金融緩和策を継続する可能性を示唆したことなどを背景にリスク回避の動きが後退したこと、日銀が追加金融緩和を実施するとの観測が高まったことなどが影響し、メキシコペソは対円で上昇しました。
- ・期を通じて見ると、メキシコペソは対円で下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

## ◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

## ◎債券種別構成

- ・メキシコ国債を中心に運用を行いました。社債については、財務状況が相対的に安定しており、かつ利回り面でも魅力があると考えたメキシコペソ建て社債を引き続き一部組み入れました。組入銘柄では、バリュエーション（投資価値基準）面で投資妙味が小さくなったとの判断から、高速道路網の運営などを手掛ける企業の社債を全て売却しました。

## ◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、バリュエーション面で相対的に魅力的だと考える中期ゾーンを中心に運用しました。また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）をやや短期化しました。
- ・ポートフォリオ全体で見ると、メキシコペソの対円での下落や保有しているメキシコ社債の下落などが基準価額の下落要因となった一方、中長期ゾーンのメキシコ国債の上昇などが基準価額の上昇要因となりました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・メキシコ中央銀行は、経済的につながりの強い米国と金融政策の足並みを揃える姿勢を示しています。一方で、原油価格の低迷などを背景にメキシコ国内の経済成長ペースが緩やかであることから、メキシコ中央銀行は、メキシコの国内景気、および米国の経済・金融政策動向の両方を勘案しながら金融政策の舵取りを実施すると予想しています。
- ・為替市況については、短期的には米国の利上げ観測などを背景にメキシコペソは対米ドルで弱含む可能性があるものの、メキシコ中央銀行が為替介入や米国に追随した金融政策を実施する

と見られることなどが下支え材料と見ています。中長期的には、米国の景気回復やメキシコ政府の構造改革などの恩恵を受け、ファンダメンタルズが堅調に推移すると考えられることから、他の新興国通貨と比べ、メキシコペソに対してはポジティブに見ています。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続きメキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとバリュエーション面などを考慮し、中期ゾーンを中心に運用します。社債については、財務状況が相対的に安定し、金利水準面でも投資妙味が高いと考える銘柄を選別して投資する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2015年5月8日～2015年11月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	5	0.045	外国での資産の保管等に要する費用
( そ の 他 )	(5)	(0.044)	
	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	5	0.045	
期中の平均基準価額は、11,359円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年5月8日～2015年11月4日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
		千メキシコペソ	千メキシコペソ
外 国	メキシコ	国債証券	63,284
		社債券	3,920

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年5月8日～2015年11月4日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	—	—	—	546	37	6.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

## ○組入資産の明細

(2015年11月4日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	179,700	196,155	1,449,586	91.7	—	75.7	16.0	—
合 計	179,700	196,155	1,449,586	91.7	—	75.7	16.0	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	国債証券						
	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	3,400	4,655	34,402	2036/11/20	
	4.5 MEXIC UDI I/L 251204	4.5	700	4,220	31,187	2025/12/4	
	4.75 MEXICAN BONO 180614	4.75	16,800	16,904	124,924	2018/6/14	
	6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	39,800	41,760	308,613	2021/6/10	
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	26,800	27,907	206,233	2022/6/9	
	7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	12,000	12,896	95,304	2017/12/14	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	31,900	35,625	263,275	2031/5/29	
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	4,000	4,452	32,900	2020/6/11	
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	26,300	31,160	230,274	2029/5/31	
	普通社債券						
	7.19 PETR MEX(GL) 240912	7.19	14,000	13,155	97,217	2024/9/12	
	7.25 GRUPO TELEVI 430514	7.25	4,000	3,417	25,252	2043/5/14	
合 計					1,449,586		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2015年11月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,449,586	% 91.7
コール・ローン等、その他	131,817	8.3
投資信託財産総額	1,581,403	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(1,574,242千円)の投資信託財産総額(1,581,403千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=121.09 円	1 メキシコペソ=7.39 円	
-------------------	-----------------	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月4日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,581,403,773
コール・ローン等	97,334,692
公社債(評価額)	1,449,586,434
未收利息	34,482,647
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	1,581,403,773
元本	1,398,623,309
次期繰越損益金	182,780,464
(D) 受益権総口数	1,398,623,309口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,307円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,879,953,465円  
 期中追加設定元本額 5,083,171円  
 期中一部解約元本額 486,413,327円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1307円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	1,148,301,667円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	250,321,642円
合計	1,398,623,309円

## ○損益の状況 (2015年5月8日～2015年11月4日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	57,521,559
受取利息	57,521,559
(B) 有価証券売買損益	△ 88,573,810
売買益	15,613,343
売買損	△104,187,153
(C) 保管費用等	△ 817,894
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 31,870,145
(E) 前期繰越損益金	282,270,453
(F) 追加信託差損益金	386,829
(G) 解約差損益金	△ 68,006,673
(H) 計(D+E+F+G)	182,780,464
次期繰越損益金(H)	182,780,464

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 【お 知 ら せ】

2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)